

お お と り No7

千曲市立埴生中学校

発行日 平成30年11月27日

私の小さな心の成長 ～人権教育月間に寄せて～

校長 丑丸 明英

みんなと同じ中学生の作文を紹介します。

「私の小さな心の成長」 小林文恵
2年生になりクラス替えをしたばかりの初めての学級で、私は学級委員に選ばれました。今から思えば、これがきっかけになって、いじめや仲間はずれのことについて真剣に考える自分になったように思います。新しい学級になって2ヶ月ほど過ぎた頃、私は担任の先生から、女子の様子が変ではないかと話をもちかけられました。先生の言ったとおり、女子の中では仲間はずれが起っていました。その人が特別悪いことをしたわけでもない、その人はやるべきことをまじめにこなす、むしろすばらしい人でした。でも、学級の中でその人はいつも一人でした。というより実際は、私たちがその人を一人にさせていたのです。私たちも、その人を仲間はずれにしようなんて思ったことは、一度もありませんでした。でも、その人と仲間になろうとしても、できなかったのです。私にも何人か仲の良い友だちがいて、私はその友だちといつもグループで行動していました。誰にも言えないことや、いろんな相談にのってくれるのも、そのグループの友だちでした。昨日、今日の友だちではなく、長いつきあいの中で自然にできたグループだったので、私はその自分たちの和の中に、その人を入れてあげることができませんでした。ところが、そう考えたのは私だけではありませんでした。学級の女子のみんなが、私と同じように考えていました。文化祭のお弁当も、みんなそれぞれ、仲の良いグループでかたまってしまうので、その人はいつも一人でした。そんな姿を見ても、声をかける人は誰もいませんでした。私も「かわいそうだなあ」と思ったのですが、それでも、自分たちの中にその人を誘うことができませんでした。その人を誘えば、今度は私が仲間はずれにされてしまうかもしれない、と思ったのです。そして、それ以上に、今この人を誘ったら、私はこのグループにいらなくなるという恐怖心が私を大きく包んでいました。私はそんな自分が情けなくて仕方ありませんでした。

た。その人を見てみると、なぜか自分自身が寂しくなってくるのです。しかし、学級委員がいつまでも仲間はずれを放っておいていいのだろうか、きっと、私たちのいろんな言葉や行動が、何度もこの人を傷つけてきたにちがいない。まず、私が何かを変えなければ、きっと仲間はずれは、もっとひどくなっていってしまう。そして、学級がだめになってしまうと私は思ったのです。

私は思い切って、グループの友だちに、その子もお弁当に誘おうと話しました。私はこの時、一つのかげをしていました。もしこれで、私が仲間はずれにされたら、私は友だちの選び方を間違っていたんだと思いました。でも、友だちは素直に私の意見を聞いてくれました。そして、ついに、その子に「一緒に食べようよ」と声をかけることができました。そのとき、私はなんとも言えない喜びを味わいました。そして、友だちにも感謝しました。ああよかった、友だちを信じてよかったと思いました。自分勝手な考え方で、ここまで傷つけてしまったことを心からあやまりたいと思いました。

今私はその友だちと、けっこう仲がいいです。部活のことを話したり、日常のささいなことを話したり・・・私は人間にとって最も大切なことを学んだなあと思うのです。今度は私が以前の勇気のない私のような人たちに、正しいことを知ってもらえるようにできればなあと思います。

いじめでは、いじめる側（加害者）に当然問題があるのですが、いじめを見ている人（傍観者）が大変問題なのです。いじめをやっていることを知っていたり、見ていたりしている人たちが、黙って見過ごしているのは、いじめをやっていることを認めているのと同じではないかと思うのです。このような傍観者が多いところでは、いじめはなくなりません。いじめに気づいた時、この作文の小林文恵さんのように、傍観者にならずに、思い切って声をかける勇気を持ちたいですね。

クラスで、いじめのような様子が見られた時、「自分に何ができるだろう」「自分に何かできることはないか」と、いつも考えることができる人たちが一人でも多くいる学校が、すばらしい学校だと言えらると思います。いじめがない、みんな笑顔の埴生中学校にしましょう。

「人権標語」
「ありがとう 魔法の言葉 伝えよう」
「笑顔でも 心の中は 分からない」
「人の気持ち 割れ物注意」

更埴地区中学校新人体育大会

団体競技結果及び
個人戦上位大会進出者のみ掲載

【男子バスケットボール】10月13・14日 4位

埴生	対	更埴西中	44	-	86	●
埴生	対	戸倉上山田	30	-	73	●
埴生	対	屋代	66	-	64	○
埴生	対	坂城	40	-	45	●

【女子バスケットボール】10月13・14日 5位

埴生	対	坂城	34	-	46	●
埴生	対	屋代	37	-	80	●
埴生	対	更埴西	44	-	86	●
埴生	対	戸倉上山田	12	-	108	●

【女子バレーボール】11月3・4日 4位

埴生	対	坂城	0	-	2	●
埴生	対	屋代	1	-	2	●
埴生	対	更埴西	2	-	1	○
埴生	対	戸倉上山田	0	-	2	●

【男子ハンドボール】10月20・21日 2位

埴生	対	屋代附属	15	-	10	○
埴生	対	屋代	28	-	8	○
埴生	対	更埴西	25	-	1	○
埴生	対	戸倉上山田	12	-	14	●

【女子ハンドボール】10月15・16日 1位

埴生	対	屋代附属	14	-	9	○
埴生	対	屋代	15	-	9	○
埴生	対	更埴西	14	-	6	○
埴生	対	戸倉上山田	27	-	7	○

【サッカー】9月15・16日 2位

埴生	対	坂城	5	-	0	○
埴生	対	屋代	8	-	0	○
埴生	対	戸倉上山田	2	-	4	●

【剣道 男子団体】10月6日 4位

埴生	対	坂城	1	-	4	●
埴生	対	屋代	0	-	3	●
埴生	対	更埴西	3	-	1	○
埴生	対	戸倉上山田	2	-	0	○
埴生	対	屋代附属	1	-	2	●

男子 個人戦 2位 西澤 和真さん

【剣道 女子団体】10月6日 5位

埴生	対	坂城	0	-	5	●
埴生	対	屋代	0	-	3	●
埴生	対	更埴西	0	-	4	●
埴生	対	戸倉上山田	0	-	4	●

【バドミントン】10月21日

女子シングルス
3位 田上 帆乃花さん

北信地区中学校新人体育大会

【男子バスケットボール】11月10日 1回戦惜敗

1回戦	埴生	対	柳町	43	-	79	●
-----	----	---	----	----	---	----	---

【女子バスケットボール】11月10日 1回戦惜敗

1回戦	埴生	対	長野西部	25	-	60	●
-----	----	---	------	----	---	----	---

【女子バレーボール】11月18日 1回戦惜敗

1回戦	埴生	対	広徳	0	-	2	●
-----	----	---	----	---	---	---	---

【野球】10月7日 2回戦惜敗

2回戦	埴生	対	川中島	4	-	5	●
-----	----	---	-----	---	---	---	---

【サッカー】10月20・21日 2位

2回戦	埴生	対	川中島	2	-	0	○
準決勝	埴生	対	三陽	1	-	0	○
決勝	埴生	対	篠ノ井西	0	-	2	●

【剣道 男子個人戦】10月27日
西澤 和真さん 1回戦 惜敗

【バドミントン 女子シングルス】11月12日
田上 帆乃花さん 1回戦 惜敗

◇第23回更埴地区短詩型文学祭
奨励賞 清住 日和さん(短歌の部)
奨励賞 小林 美空さん(川柳の部)
奨励賞 田中 誠祥さん(川柳の部)

水泳は上位入賞者のみ掲載

【水泳】9月2日
<1年>

100m平泳ぎ 5位 宮坂 友希乃さん
100m背泳 4位 中山 僚太さん
<2年>

100mバタフライ 7位 宮坂 歩さん
50m自由形 6位 小林 洋太さん
100m背泳 7位 中村 康介さん
50m自由形 7位 西野入 美優里さん
100m自由形 7位 西野入 美優里さん
<リレー種目>

200mリレー 男子 13位
200mリレー 男子 11位
200mリレー 女子 6位

県中学校新人体育大会

【男子ハンドボール】11月10日・11日 優勝!

埴生	対	屋代	33	-	20	○
埴生	対	更埴西	44	-	15	○
埴生	対	戸倉上山田	39	-	28	○

【女子ハンドボール】11月10日・11日 優勝!

埴生	対	更埴西	15	-	13	○
埴生	対	屋代附属	30	-	15	○

★県大会アベック優勝した男女ハンドボール部は1月に行われる富山カップへ出場します。

【新体操】11月25日
女子個人総合

38位 相澤 杏奈さん

各種作品コンクール上位入賞者

◇第69回長野県児童生徒美術展
<絵画の部>
地区入選 岩佐 季里 さん
地区入選 丸山 祐人 さん
地区入選 関口 小雪 さん
地区入選 糸内 絵美里 さん

<習字の部>
地区入選 小岩 玲奈 さん
地区入選 富田 明希 さん

◇第38回人権作文コンテスト長野地区大会
奨励賞 亘 真菜美さん



千曲市立埴生中学校
文責 教頭 村松 啓司
長野県千曲市桜堂100

電話 026(272)0015
FAX 026(273)2792
Email: hanyuchu@school.chikuma-ngn.ed.jp

人権教育強調月間(11月)の取り組み

◆人権教育強調月間の取組

全体:①身の回りの人権問題について考える

②部落差別問題について考える

1年生:部落差別の起こりから江戸時代までの様子
(どのように起こり、広まったのか)

2年生:明治時代以降の部落差別の変化(四民平等により差別が強化された内容とその後の課題)

3年生:現代に残る部落差別(差別発言、結婚差別、就職差別など現代で課題となっている問題など)

◆校長講話「私の小さな心の成長」

◆人権標語をつくり、校内に掲示する

◆人権まとめの作文を全員が書き発表する

◆授業参観日(全クラス人権教育の参観授業の実施)

◆講演会「ケニアのマトマイニ(希望)を育てる」

講師:菊本 照子先生(元ケニア大使館勤務)

菊本さんは、元宮崎県の中学校英語教師でした。その後、ケニアの日本大使館に勤務され、ストリートチルドレンの支援と救済活動をはじめ、児童の保護養育施設「マトマイニ・チルドレンズ・ホーム(希望の家)」を設立し保護教育と生活自立支援に尽力されています。現在もケニアにて活動を行っている傍ら、日本に帰国した際には、ケニアでの活動の広報のため全国各地で講演会を行っています。講演会では、公共のサービスが受けられないなど荒廃状態にある都市部の貧しい人たちに対して、菊本さんが愛情を持って支援を行っているお話を聴き深く感銘を受けました。



講師の菊本 照子先生



生徒と一緒に講演を聴く保護者の皆さん

【講演会の生徒・保護者の感想より】

○最初、どうしてケニアまで行って活動するのか不思議でした。菊本さんのお話を聞いたり写真を見たりして、ケニアに住む人々が笑顔で生活している様子を見て、たとえ良い暮らしができていなくても、笑顔になれる環境をみんなで協力してつづけている姿に感動しました。菊本さんの活動の意味が少し分かったような気がしました。(1年女子)

○話を聞いて改めて「日本は恵まれている」と思いました。ケニアの子どもたちの中には、1日1日を暮すのがやっとという状況の子どもがいて、自分の好きなことができないし、学校にも通えず働く場所がなくなるということを知りました。そんな人々を減らすために活動をし、子どもたちに希望を持たせることができる菊本さんはとてもすごい人だなと思いました。私も人に希望をつくれるような人になりたいと思いました。(2年生女子)

○人のために何かをすることができる場所は人間として尊敬できるなと思いました。人のためになることをすると、いずれ何か返ってくるのではないかなと思いました。人それぞれの生き方がある中で、菊本さんの生き方はとても素晴らしい生き方だなと思いました。(3年男子)

○日本では当たり前のことが、ケニアではそうではないということがわかりました。朝・昼・晩ときちんと食事ができることは本当に幸せなことだと改めて感じました。菊本さんの活動には頭が下がります。(保護者)

○ケニアの子どもたちはまさに自主自律をめざし、自分の力で自分を助けることを理解し、それにこたえて一生懸命生きる子どもたちは逞しく素晴らしいと感じました。また、みんなで協力する大切さや自分の立場だけでもものを言うのではなく、相手のことも考え行動することの大切さを菊本さんのお話から学ばせて頂きました。(保護者)

1年生「埴生小6年生を温かく迎える」小6体験入学より 11/9

10月24日(火)、来年度中学に入学する埴生小学校の6年生が体験入学に訪れました。授業体験では美術・英語・社会の中から一つの教科を選び、中学校の授業体験をしました。また、中学生と一緒に清掃を行ったり、「中学校生活について」現中1生徒から説明を受けました。その後、部活見学を行いました。楽しそうに、積極的に授業を受ける姿、一生懸命清掃をする姿から中学校での生活を楽みにしている様子がうかがえました。



英語の体験授業を受ける6年生



中学生と共に床磨きをする6年生



中1生徒の合唱を聞く6年生

3年生「キャリア教育」11/1 マネープランゲームで将来設計を考える



マネープランをグループで作成中

11月1日(木)、3年生はキャリア教育の一環として、全国銀行協会の方を講師に招いて人生設計についての学習を行いました。「非消費支出」「人生の三大資金」など生活に必要な資金について学ぶことができました。

【生徒の感想より】人生を過ごしていくにはたくさんのお金が必要だということが分かりました。就職・結婚・出産等大事な決断は何回もあると思います。何が正しいかなんてわからないし、まあ違った選択をしてしまうことがあるかもしれません。生活を見直して、現実とお金と生活のバランスを常に考えていけるようになりたいと思います。いくらお金を溜めても「思い出」は買えません。お金も大切ですが、思い出がたくさんある楽しい人生を過ごしていきたいです。

「Work work メッセ」2学年職場体験学習発表会 10/26

7月に地域の事業所等で3日間の職場体験学習に取り組んだ2学年の生徒が、「仕事で学んだこと」をまとめ、「Work workメッセ」として発表しました。体験学習の様子を写真や模造紙等を使って、行ったこと・学んだこと・これからの生活に生かしていきたいことなどについて発表しました。発表当日は、お世話になった事業所の方、保護者の皆さんや教育委員会の方、おおとり支援隊の方々にも来校していただき、生徒の発表を聴いていただ

きました。

【生徒の感想(生活ノートより)】「今日は、Work workメッセの本番でした。私たちは病院での体験を発表しました。実演もあったのでとても緊張しましたが、1年生や保護者の方たちが楽しそうに聴いてくれたので、緊張も解けいい発表をすることができました。体験学習で学んだことを将来に向けて生かしていきたいと思います。」

